# 人文系データベース構築事例 ポータルサイト・DB 登録マニュアル

# 目次

ユーザー登録について・・・・・・	2
ログイン画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
パスワードを忘れたら ・・・・・	3
ポータルサイト・DB への登録フロー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
編集画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
登録 DB 一覧の見方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
ダッシュボード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11

# 参考資料

NDC 分類一覧表 ·······12
各 NDL 資源タイプの詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ビジュアルエディタの使用方法・・・・・ 1
メディアアップローダーの使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

2015/5/15

#### Ver. 1.3

# 人文系データベース協議会 www.jinbun-db.com

お問い合わせ先:komori@isc.osakac.ac.jp

# ユーザー登録について

ユーザー登録は、人文系データベース構築事例のポータルサイトにデータベースサイトの情報を掲載するために必要 となる手順です。登録していただいたユーザー名とパスワードで管理画面にログインすることにより、人文系データ ベース構築事例ポータルサイト・DB 登録フォームに記入できるようになります。

ユーザー登録はページ下部のメニューにあります「ユーザー登録」ボタンから行ってください。



# ユーザー登録の手順

- 1. ユーザー登録画面上の入力フォームに必要事項を記 入してください。登録フォームの記入事項はすべて 必須です。 「ユーザー名」には半角英数字とハイフン(-)、アン ダーバー()、アットマーク(@)がご利用いただ けます。 「メールアドレス」にはご利用中のメールアドレスを ご記入ください。記入されたアドレスはパスワード を紛失した際、再発行するために利用されます。 「パスワード」には7字以上の任意のフレーズをご記 入ください。 「パスワード確認」には「パスワード」にてご記入い ただいたフレーズと同じものをご記入ください。 ※パスワードは第三者に知られると悪用される可能 性がありますので、厳重に管理して下さい。
- 2. すべての項目をご記入後、「登録」ボタンをクリック してください。ログイン画面へ切り替わりますが、 登録はまだ完了していませんのでご注意ください。
- 3. ご記入いただいたメールアドレス宛に登録の確認 メールが届きます。メール本文に書かれた URL リン クをクリックして登録が完了します。 ※送付されたメールが迷惑メールとして振り分けら れる場合がありますので、ご注意ください。



この度は人文系データベース構築事例のボータルサイトにご登録頂き、誠にありがとうござい ます。 本メールはメールアドレスの認証のためお送りしております。 下記リンクにアクセス頂き新規登録を継続してください。

http://www.jinbun-db.com/login?action=activate&key=0PJmHkmdShmn9jxx6X3S&login= 3 inbun-taro

# ユーザー登録情報 ユーザー名:jinbun-taro

※本メールではまだ新規登録は完了しておりません。ご注意ください。

何かご不明点ございましたら、お気軽に下記お問い合わせフォームよりご連絡ください。 今後とも人文系データベース協議会を宜しくお願い申し上げます。

お問い合わせはこちら http://http://www.jinbun-db.com/contact

# ログイン画面

ログイン画面へはページ下部のメニューにあります「ログイン」ボタン(下図赤枠内)から移動できます。



# ログインの手順

- 1. ユーザー名とパスワードを記入します。
- 次回以降ログイン手続きを省きたい場合は「ログイン状態を保存する」にチェックを入れてください。
   ※部外者と共有されている端末上では、このチェックはつけないようお願いします。
- 必要な情報をすべて記入できましたら「ログイン」 ボタンをクリックしてください。DB 登録画面へ切り 替わります。

1	ユーザー名 jinbun-taro
	バスワード ••••••
2	□ ログイン状態を保存する
3	ログイン

# パスワードを忘れたら



- 1. ログインフォーム下部にある「パスワードを紛失した場合」というリンクをクリックします。
- **2.** 再発行画面が表示されたらフォームにユーザー名またはメールアドレスを記入して「新しいパスワードを取得」 ボタンをクリックしてください。
- **3.** ご登録いただいたメールアドレス宛に再発行手続き用のメールが届きます。メール本文に書かれた URL リンクを クリックして再発行手続きを進めてください。
- **4.** パスワードのリセット画面が表示されますので、新しいパスワードを入力して「パスワードをリセット」ボタン をクリックしてください。

# ポータルサイト・DB への登録フロー

DB の新規登録をしても、そのままデータが公開されることはありません。管理者のレビューを受けて承認されたのちに公開されます。公開までの手順は以下の通りです。

# 用語説明

### 下書き ステータス

作成中の登録内容を「レビュー待ち」にする前に一時保 存した状態、もしくは「レビュー待ち」の登録内容を管 理者が差し戻した時の状態を指します。原則的にこの状 態で編集作業を進めてください。

#### レビュー待ちステータス

管理者が作成された登録内容を確認し、公開手続きを取 るための状態を指します。内容に不備があった場合、「下 書き」の状態へ差し戻される可能性がありますが、問題 がなければそのまま管理者の承認を経て公開されます。 なお、この状態で編集を行うことも可能ですが、その際 は事前に管理者へお問い合わせください。

※一度レビュー待ちへ移行するとユーザー権限では下 書きに戻せません。円滑な公開フローを維持するため、 必ず登録内容が完成もしくは修正が完了した状態でレ ビュー待ちへ移行してください。

#### 公開済み ステータス

管理者が外部への公開手続きをとった後の状態を指しま す。この状態で修正したい箇所が出てきた場合はブラン チを作成する必要があります。

#### ブランチ ステータス

一度公開した登録内容を再編集するための状態を指しま す。Branch(枝)という言葉の通り、登録内容を公開用 とブランチ(編集用)の二つの状態に枝分かれさせます。 改変を行う場合は必ずブランチを用意して編集してくだ さい。最終的に管理者の承認を経て公開中の登録内容を 上書き・統合します。



#### 差し戻し管理者の操作

「レビュー待ち」の内容に不備があった場合、管理者が 登録内容を「下書き」の状態へ差し戻す場合があります。 その際、管理者から連絡が届きますので、その内容に従っ て修正を進めてください。

編集画面

メニュー内の新規登録という項目をクリックすると下図の画面へ切り替わります。

これを編集画面と呼びます。

編集画面の記入欄に必要な情報を入力し、公開用操作パネルで、データ保存、管理者への報告、実際に表示される画 面のプレビューなどを行います。

省 (仮)人文系データベ			
🚳 ダッシュボード	新規追加	公開用操作パネル	表示オプション ▼
🖈 データベース	1.DBの名称(日本語)	公開	
登録DB一覧 <b>新規追加</b>		下書きとして保存	プレビュー
<b>り</b> ] メディア	2. DBの名称(英語)	<ul> <li>↑ ステータス: Face</li> <li>● 公開状態: 公開</li> </ul>	
👗 プロフィール		ゴミ箱へ移動 レビ:	ュー待ちとして送信
🔇 メニューを閉じる	3. DBの名称(ひらがな)		
	4. DB構築責任者氏名		
	5. DB構築責任者氏名(ひらがな)		
	6. DB構築責任者氏名(ローマ字)		

### 記入欄各部説明

1.DB の名称(日本語)

2. DB の名称(英語)

3.DB の名称(ひらがな)

データベースサイトの名称を記入します。それぞれカッ コ内の文字種指定に従って記入してください。

「1. DB の名称(日本語)」欄は一覧画面(詳細は p10「登 録内容一覧の見方」を参照)やポータルサイト上の検索 結果等に見出しとして表示されます。

#### 4. DB 構築責任者氏名

- 5.DB 構築責任者氏名(ひらがな)
- 6.DB 構築責任者氏名(ローマ字)

構築責任者の氏名を記入します。それぞれカッコ内の文 字種指定に従って記入してください。

#### 7.構築責任者の所属機関(日本語)

#### 8.構築責任者の所属機関(英語)

構築責任者が所属する機関名を記入します。それぞれ カッコ内の文字種指定に従って記入してください。

#### 9. 所属機関の住所

構築責任者が所属する機関の所在地を記入します。

### 構築責任者の連絡先(メールアドレス)

構築責任者へ連絡がつくメールアドレスを記入します。 (この欄へ記入される情報はポータルサイト上に公開さ れることはありません。)

#### 10. 構築開始年月

データベースを運用開始した時期を記入します。カレン ダーから任意の日付を選択するほか手動で自由に記入す ることも可能です。

#### 11. 最終更新年月

データベースを最後に更新した時期を記入します。カレ ンダーから任意の日付を選択するほか手動で自由に記入 することも可能です。

#### 12. 今後の更新予定の有無

今後の更新予定をプルダウンメニューから選択します。

### 新規追加

1. DBの名称(日本語)

2. DBの名称 (英語)

3. DBの名称(ひらがな)

4. DB構築責任者氏名

5. DB構築責任者氏名(ひらがな)

6. DB構築責任者氏名(ローマ字)

7. 構築責任者の所屈機関(日本語)

8. 構築責任者の所属機関(英語)

9. 所屋機関の住所

構築責任者の連絡先(メールアドレス) ご記入いただいたメールアドレスはボータルサイト上で外部公開されることはございません。当協議会事務局で厳重に管理・保管いたします。

10. 構築開始年月

11. 最終更新年月

12. 今後の更新予定の有無

定期的に更新

#### 13.DB 設置場所の北緯

データベースが設置された場所を北緯で記入します。(ク ラウドなどを利用されている場合には、ご記入いただか なくても結構です。)

### 14.DB 設置場所の東経

データベースが設置された場所を東経で記入します。(ク ラウドなどを利用されている場合には、ご記入いただか なくても結構です。)

#### 15.原資料

データベースの対象となった資料の書誌事項等を記入し ます。

### 16. 原資料の概要(400 字以内)

データベースの対象となった資料等の概要を記入します。

#### 17. テーブル名とデータ項目

データベースに収録されている主要項目を例示します。 表形式でデータ項目を挿入したり、サンプル画像などを 挿入するために、ここではビジュアルエディタを利用し た自由記述が可能です。ビジュアルエディタの使用方法 については後述します。

#### 18. レコード件数

データベースに収録された項目の件数を記入します。

#### 19. データベース管理システム (DBMS)

データベースの管理に使用したシステム名を記入します。

#### 20.運用形態

現在のデータベースの運用状態を選択します。「その他」 を選択すると別途入力フォームが表示されますので、そ こに運用状況を記入してください。

#### 21. インターネットから公開している場合の URL

データベースサイトの URL を記入します。

#### 22.年間アクセス数

およその年間アクセス数を数値で記入します。

#### 23.利用登録者数

データベースサイトの登録ユーザー数を記入します。 登録制でない場合は「登録を要しない」と記入してくだ さい。

1. DeB選擇時の注題 1. DeB選擇時の連 1. DeB選擇時の連 1. 原資料 1. 原資料 1. 原資料 1. デーブル&とデーク項目 マレンディアで協想 B デ ギ リ 는 * ド 平 平 臣 庄 三 ● ② 田 * * * * * ● ● ア ブ フランドサニ ▼ ● ① ① 《 - △ * ※ ● ● P 2 3. F - * U 는 * * * * * * ● ● P 2 3. F - * U 는 * * * * * * * ● ● P 2 3. F - * U = * * * * * * ● ● P 2 3. F - * U = * * * * * * ● ● P 2 3. F - * * * * ● ● P 2 3. F - * * * * ● ● 1. J - * + ## 1. J - * - * * * ● ● 2. ■ ■ #### 1 * - * * * * ● ● 2. ■ ■ #### 1 * - * * * * ● * * * * * * * * ● ● 2. ■ ■ #### 2. ■ ■ #### 2. ■ #### 2. → * * * * * * * * * * * * * * * * * *								
14.003223時のの東部         15.原資料         16.原資料の機要 (400字以(小))         17.7-ブル名とデータ項目         19.メディアを出加         19. レコード有数         19. シート・「教         19. ブークペース検醒きステム (DBMS)         10. レコード有数         10. 東田市町         10. シート・「教知         11. インターネットがらり期にできるが採用着を提定している。         インターネットがらり期にできるが採用着を提定している。         インターネットがらり期にできるが採用着を提定している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用着を提定している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用着を提定している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用着を提定している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用着を提定している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用着を提定している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用着を通知している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用者を通知している。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用者を通知を見たしている。         スタントアローンのシステムとして利用できるが採用者を通知を見たしている。         スタントアクトカーションのステムとして利用できるが採用者を通知を見たしている。         スタントアローンのシステムとして利用できるが知識を発出している。         スクームし振音をである。         アークペースをし振音をである。	13. DB設置場所の北緒	l.						
14.000週期時の申題 5.原費利 5.原費利 5.原費利 5.原費利 5.原費利 5.原費利の機要 (4007月以外) 7.7-ブル名とデーク項目 Ŷ:メディアを追加 Ŷ:メディアを追加 8. ブ ギ U E ▼ ド 平 平 平 主 主 三 <i>P</i> 2 2 m * ^ <i>r r</i> m <u>正</u> <u>可</u> <u>四</u> P2 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 44 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-ドウエ、 <i>Q</i> Ω 45 - <u>A</u> * × ○ @ 7.2-F*VFDS-MBT できが知時できび知らい。 7.2-F*VFDS-MBT できが知らい。 7.2-F*VFDS-MBT できび知らい。 7.2-F*VFDS-MBT できび知らいの 7.2-F*VFDS-MBT できびいらいの 7.2-F*VFDS-M								
15. 原資料         15. 原資料         16 原資料の模要 (400 芋以外))         (1. デーブル名とデーク項目 (1. デーブル名とデーク項目)         (1. デークハース協興システム (DBMS)         (1. ジー・ド作数)         (1. ジー・シード)         (1. ジー・ネットから利用できるが利用を発達している。 (1. ジー・ネットから利用できるが利用を発達している。 (1. ジー・ネットから利用できるが利用を発達している。 (1. ジー・ネットから利用できるが利用を発達している。 (1. ジー・ネットから利用できたが利用を発達している。 (1. ジー・シのシステムとして一般な観している。 (1. ジー・シのシステムとして一般な観している。 (1. ジー・シのシステムとして一般な観している。 (1. ジー・シのシステムとして一般な観している。 (1. ジー・シのシステムとして一般な観している。 (1. ジー・ショントから利用できたが細胞を得意している。 (1. ジー・ショントから利用できたが知識を得意している。 (1. ジー・ショントから利用できたが細胞を得意している。 (1. ジー・ショントから利用できたが知識を得意している。 (1. ジー・ショントから利用できたが細胞を得意している。 (1. ジー・ショントから利用できたが知識している。 (1. ジー・ショントから利用できたが知識している。 (1. ジー・ショントから利用できたかない。 (1. ジー・ショントゥ・ショントから利用できたかない。 (1. ジー・ショントゥ・ショ	14.DB設置場所の東紹	L.						
15. 原資料         15. 原資料         16. 原資料の成質 (400 芋以内))         17. デーフル名とデーク項目         ウ、ディフで恋加         18. J ** U E * E * F 事 E 左 三 E * 2 2 回 ** * * * * * * * * * * * * * *								
is.原幹科 is.原幹科 is.原幹科 is.原幹科 is.原教科の概要(400字以仲) is.アーブル名とデーク項目 ウ、ジディアで追加 B J ** U E * F * F P E E E E Ø 02 E								
a ( ) (40) デジステンク項目 ・ ) メディンでた近か ■ 」 デ ー リ E ▼ E ▼ E E E E ● ● ◎ 田 * ^^ ^ ■ E I = I = ● ● ズ - ン * ◇ ① ( 4 - △ * × ◇ ● P   2	15. 原資料							
16 6 原資料の概要 (400字以内) 17. デーブル名とデーク項目 9. メディアを追加 B J ベ U E ▼ E ▼ E ▼ E Ξ Ξ ● 2 2 田 * ^ ^ ^								
10. 所在中の兄童 (300 + 34,44) 17. テーブル名とデータ項目 ① メディアを追加 B J ベ U E * E * 様 取 E 主 三 三 の 22 田 * へ へ ア 回 互 J ユ  [原本 * フォントサ* ② ① 44 - ▲ * ※ ○ ③ 18. レコード件数 19. データベース管理システム (DBMS) 20. 運用肥肥 ① インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ① インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ① インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ② インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ③ インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ③ インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ③ インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ③ インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ③ インターネットから利用できるが明白を意味としている。 ③ インターネットから利用できたがい論を得たしている。 ③ インターネットから分開できたがい論を得たしている。 ③ インターネットから利用できたがい論を得たしている。 ④ インターネットから利用できたがい論を得たしている。 ● インターネットから利用できたがい論を得たしている。 ● インターネットから利用できたがい論を得たしている。 ● インターネットから利用できたがい論を得たたている。 ● インターネットから利用できたがい論を得たしている。 ● インターネットかられてきたがい論を見たるの ● インターネットかられてきたかい論を得たしている。 ● インターネットかられてきたかい論を得たるの ● インターネットかられてきたかい論を見ためい論 ● インタークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロー								
<ul> <li>7. テーブル名とデータ項目</li> <li>① メディアを追加</li> <li>B J ベ U E × E × 車 車 E E E = ● ② □ 田 × へ べ</li> <li>原 理 J 田</li> <li>原 2 × フォントサ × ◇ Ω 44 - Δ × × ◇ ●</li> <li>8 座 × フォントサ × ◇ Ω 44 - Δ × × ◇ ●</li> <li>8. レコード件数</li> <li>9. データベース管理システム (DBMS)</li> <li>0. 理用肥肥</li> <li>1 インターネットから利用できるが抑明を意思なしている。</li> <li>1 インターネットから利用できるが抑明を意思なしている。</li> <li>1 インターネットから利用できるが抑明を意思なしている。</li> <li>1 インターネットから利用できるが抑明を意思なしている。</li> <li>2 パントワーンのシステムとして利用できるが抑動を限定している。</li> <li>2 パントワーンのシステムとして利用できるが抑動を限定している。</li> <li>2 パンターネットから利用できたが公開を使用している。</li> <li>3 パントアローンのシステムとして利用できるが抑動を認知している。</li> <li>3 パントアローンのシステムとして利用できるが抑動を認知している。</li> <li>3 パントアローンのシステムとして利用できるが抑動を認知している。</li> <li>4 休眠中である。</li> <li>7 - クタースタントから利用できたが公開を停止している。</li> <li>4 休眠中である。</li> <li>7 - クタースタントから公開している場合のURL</li> </ul>	0 原資料の概要(400	子以内)						
A. テーブル名とデータ項目 9] メディアを追加 B J ベ U E × E × 序 亭 E E E ● ② ② 田 × へ ぐ 画 匠 J U 座 T × J U R T × U E × E × 序 亭 E E E ● ③ ② 田 × へ ぐ の C 4 - △ × × ○ ④ R T × J U R T × J V R								
17. テーブル&とデーク項目     91 メディアを追加     B J 本 以 E * E * 様 季 臣 こ こ 三 の 2 日 * ↑ ↑ ↑     m 正 虱 風     R液 ▼ フォントサ. ▼ 2 Ω 44 - Δ * × ○ ●     R 2 3 風     R液 ▼ フォントサ. ▼ 2 Ω 44 - Δ * × ○ ●     R 2 3 風     R 2 * フォントサ. ▼ 2 Ω 44 - Δ * × ○ ●     R 2 3 3 風     R 2 * フォントサ. ▼ 2 Ω 44 - Δ * × ○ ●     R 2 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
7. テーブル名とデータ項目         (な) メディアを追加         B J ** U E * E * 序 章 E E E E Ø Ø 回 * ^ ^          (回 互 豆 豆 豆)         (2) 2 · < ○ 0 · · ▲ - ▲ * × ○ 0								
A テーブル名とデータ項目 ④ メディアを追加 B J ベ U E * E * 序 示 示 声 三 三 <i>P</i> ② 田 * ^ ^ / / ■ <u>I ~ J J</u> R 7 * J Z J J R 7 * J Z J J R 7 * J Z J Z J R 7 * J Z J Z J Y R 7 * J Z J Z J Y R 7 * J Z J Z J Y R 7 * J Z Z J Z J Y R 7 * J Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z								
A テーブル名とデーク項目 ④ メディアを追加 B J エ U E F E F 序 戸 E E E E Ø Ø 田 * ^^^^ ■ E J 里 P 2 0 44 - ▲ * × ○ 0 P 2 3 U 2 3 U 2 3 4 4 - ▲ * × ○ 0 P 3 4 U - Ff数 P 3 5 - クィース管理システム (DBMS) A T- クーネットから一般公開している。 1 インターネットから利用できるが用きを限定している。 1 インターネットから利用できるが用きを限定している。 1 インターネットから利用できるが用きを限定している。 1 インターネットから利用できるが用きを限定している。 1 インターネットから利用できるが用きを限定している。 1 インターネットから利用できるが用きを限定している。 1 インターネットから利用できるが用いてきる。 1 インターネットから利用できるが明正できるが明正を見ている。 1 インターネットから利用できるが明正できるが明正である。 1 インターネットから利用できるが明正できるが明正できるが明正である。 1 インターネットから利用できるが明正できるが明正できるが明正である。 1 インターネットから利用できるが明正である。 1 インターネットから利用できるがのはている。 1 インターネットから利用できるが明正できるが明正である。 1 インターネットから利用できるが明正できるが明正でいる。 1 インターネットから分開している場合のURL								
9. メディアを追加         B I エ U E * E * F 示 示 示 示 示 示 ♪ ♪ ♪ ♪ □         画 正 J U         P         2 フォントサ* ◇ Ω 44 - A * × ◇ ●         P         8. レコード存数         9. データベース管理システム (DBMS)         9. データベース管理システム (DBMS)         0. 期用肥         1 インターネットから小開できるが現断を限定している。         インターネットから利用できるが現断を限定している。         インターネットから利用できるが現職を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用きを限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが明晰を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが明晰を限定している。         インターネットから利用できたが公開を得たしている。         インターネットから利用できたが公開を得たしている。         インターネットから利用できたが公開を得たしている。         アーター、スを公開予定である。         その他         1. インターネットから公開している場合のURL	17. テーブル名とデー	夕項目						
B I *** U E * E * 序 季 主 主 三 <i>P</i> 2/2 Ⅲ * ↑ ↑ ■ <b>I</b> J J P 2 2 3 > トサ. * 2 Ω 46 - A * × ○ ● 8. レコード件数 9. データベース管理システム (DBMS) 2. <b>期用肥</b> 1. インターネットから小期用できるが明用きを限定している。 インターネットから利用できるが明用きを限定している。 インターネットから利用できるが明用きを限定している。 インターネットから利用できるが明用きを限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが明用きを限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが明用きを限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが明用きを限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが明用きを限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが明用きを限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが明白きを認定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが明白を限定している。 スタンドアローンのシステムとの可能である。 テータベースを公開予定である。 テータベースを公開予定である。 その他	9:メディアを追加							
P 感著 ▼ フォントサ▼ ② Ω 44 - ▲ ▼ ※ ◇ ④ 8. レコード件数 9. データベース管理システム (DBMS) 0. 期形態 1. インターネットから利用できるが現用を意味としている。 1. インターネットから利用できるが現用できるが現用を意味としている。 1. インターネットから利用できるが現用できるが現用を意味としている。 2. タンドアローンのシステムとして利用できるが現用を意味としている。 2. メンターネットから利用できるが現用できるが明用を意味としている。 2. メンターネットから利用できるが現用できるが明用を意味としている。 2. メンターネットから利用できるが現用できるが明用を意味としている。 3. メンターネットから利用できるが現用できるが明用を意味としている。 3. メンターネットから利用できるが現用できるが明用を意味としている。 3. メンターネットから利用できるが現用できるが明用を意味としている。 3. メンターネットから利用できたが公開を停止している。 5. インターネットから利用できたが公開を停止している。 5. インターネットから利用できたが公開を停止している。 5. インターネットから利用できたが公開を停止している。 5. インターネットから利用できたが公開を使用できる。 5. インターネットから利用できたが公開を使用している。 5. インターネットから利用できたが公開を使用している。 5. インターネットから分開している場合のURL	B T ABE U		∉ ₽	= =		12 82		50
<ul> <li>図 マ フォントサ ▼ ② Ω K - ▲ × × ○ ◎</li> <li>ア ○ □ · ▲ × × ○ ●</li> <li>x □ - ド 井 次</li> <li>x □ - ド → x □ - ド → x □ - 1 → x □</li></ul>						0 00		
- レコード件数 - ・レコード件数 - ・レコード件数 - ・ブータベース管理システム (DBMS)	段落 ▼ :	フォントサ 🔻	Ω	66 —	<u>A</u> •		8	
p       タ         8. レコード件数       タ         9. データベース管理システム (DBMS)       タ         0. 運用形態       マンターネットから一般公開している。         コインターネットから利用できるが利用者を限定している。       インターネットから利用できるが規制を修定している。         インターネットから利用できるが規範を限定している。       マンターネットから利用できるが規範を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが規範を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが規範を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが規範を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが規範を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが規範を構定している。       インターネットから利用できたが公開を停止している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが公開を停止している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが公開を使用している。         インターネットから利用できたが公開を使用している。       インターネットから知用できたが公開を使用している。         インターネットから公開している場合のURL       ・								
P       」         18. レコード件数       19. データペース管理システム (DBMS)         20. 週用形態       インターネットから一般公開している。         インターネットから利用できるが利用者を限定している。       インターネットから利用できるが利用者を限定している。         インターネットから利用できるが利用者を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用を使止している。       インターネットから利用できたが公開を停止している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが公開を使止している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが知者を停止している。         インターネットから利用できたが公開を使用している。       インターネットから利用できたが公開を使止している。         インターネットから公開している場合のURL       1. インターネットから公開している場合のURL								
P								
p								
P       -         18. レコード件数       -         19. データペース管理システム (DBMS)       -         20. 週用形態       -         コインターネットから利用できるが利用者を限定している。       -         インターネットから利用できるが規能を限定している。       -         インターネットから利用できるが規能を限定している。       -         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       -         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       -         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       -         インターネットから利用できたが公開を停止している。       -         インターネットから利用できたが公開を停止している。       -         インターネットから利用できたが公開を停止している。       -         インターネットから利用できたが公開を使用している。       -         インターネットから利用できたが公開を使用している。       -         インターネットから利用できたが公開を使用している。       -         インターネットから利用できたが公開を使用している。       -         インターネットから利用できたが公開を使用している。       -         マークペースを公開予定である。       -         マーク       -         たしている場合のURL       -								
P       2         18. レコード件数       19. データペース管理システム (DBMS)         20. 運用形態       10. ブークペース管理システム (DBMS)         20. 運用形態       インターネットから利用できるが利用者を限定している。         インターネットから利用できるが規能を限定している。       インターネットから利用できるが規能を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが公開を停止している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが公開を停止している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが公開を停止している。         インターネットから利用できたが公開を停止している。       インターネットから利用できたが公開を使用している。         インターネットから公開している場合のURL       11. インターネットから公用している場合のURL								
p       。         18. レコード件数       19. データペース管理システム (DBMS)         20. 運用形態       ・         1 ペンターネットから小剤できるが利用者を限定している。       ・         インターネットから利用できるが利用者を限定している。       ・         インターネットから利用できるが利用者を限定している。       ・         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       ・         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       ・         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       ・         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       ・         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       ・         スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       ・         インターネットから利用できたが公開を停止している。       ・         テータペースを公開予定である。       ・         テータペースを公開予定である。       ・         マの他       ・         れてンターネットから公開している場合のURL       ・								
p       。         18. レコード件数       19. データペース管理システム (DBMS)         20. 遅用形態       ・         1 インターネットから一般公開している。       ・         1 インターネットから利用できるが利用者を限定している。       ・         1 インターネットから利用できるが利用者を限定している。       ・         1 インターネットから利用できるが利用者を限定している。       ・         2 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       、         2 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       、         2 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       、         2 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。       、         1 インターネットから利用できたが公開を停止している。       ・         1 インターネットから利用できたが公開を使用している。       ・         1 インターネットから分開している場合のURL       ・								
<ul> <li>P</li> <li>P</li> <li>A. レコード件数</li> <li>A. レコード体数</li> <li></li></ul>								
<ul> <li>8. レコード件数</li> <li>9. データベース管理システム (DBMS)</li> <li>0. 運用形態 <ul> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが</li> <li>第一タベースを公開予定である。</li> <li>テータベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> </ul> </li> <li>1. インターネットから公開している場合のURL</li> </ul>	р							4
<ul> <li>8. レコード作数</li> <li>9. データペース管理システム (DBMS)</li> <li>10. 運用形態 <ul> <li>インターネットから一般公開している。</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが規能を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが規能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが規能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>マクーネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>データベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> </ul> </li> <li>1. インターネットから公開している場合のURL</li> </ul>								
<ol> <li>データベース管理システム (DBMS)</li> <li>20. 運用形態         <ul> <li>インターネットから一般公開している。</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが現能を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが現能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムで非公開である。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> </ul> </li> </ol>	8. レコード件数							
19. データベース管理システム (DBMS) 20. 運用形態 20. 運用形態 20. ブリングーネットから一般公開している。 20. インターネットから利用できるが利用者を限定している。 20. インターネットから利用できるが現能を限定している。 20. インターネットから利用できるが非公開できるが利用者を限定している。 20. スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。 20. スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 20. スタンドアローンのシステムで非公開である。 20. インターネットから利用できたが公開を停止している。 20. インターネットから利用できたが公開を停止している。 20. インターネットから利用できたが公開を停止している。 20. インターネットから利用できたが公開を停止している。 20. インターネットから知用できるが現出 20. プレースを公開予定である。 20. インターネットから公開している場合のURL								
<ul> <li>19. データベース管理システム (DBMS)</li> <li>20. 運用形態</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが非公開である。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが場略を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムで非公開である。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>ゲ級中である。</li> <li>データベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> <li>21. インターネットから公開している場合のURL</li> </ul>								
20. 運用形態 インターネットから一般公開している。 インターネットから利用できるが利用者を限定している。 インターネットから利用できるが解除を限定している。 インターネットから利用できるが非公開である。 スタンドアローンのシステムとして一般公開している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 、オンターネットから利用できたが公開を停止している。 休眠中である。 データベースを公開予定である。 その他 れ. インターネットから公開している場合のURL	19. テータハース管理	SYLT (DRW2)						
<ol> <li>20. 運用形態</li> <li>インターネットから一般公開している。</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが規能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして一般公開している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが規能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが規定である。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を使止している。</li> <li>オンターネットからA用できたが公開を使止している。</li> <li>オンターネットからA用している場合のURL</li> </ol>								
インターネットから一般公開している。 インターネットから利用できるが利用者を限定している。 インターネットから利用できるが規能を限定している。 インターネットから利用できるが規能を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムで非公開である。 インターネットから利用できたが公開を停止している。 休眠中である。 データベースを公開予定である。 その他	20.運用形態							
<ul> <li>インターネットから一般な師じている。</li> <li>インターネットから利用できるが利用者を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが現都を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして一般公開している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムで非公開である。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>データペースを公開予定である。</li> <li>その他</li> </ul>		C 6040881	7					
インターネットから利用できるが機能を限定している。 インターネットから利用できるが機能を限定している。 インターネットから利用できるが非立場である。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムで非公開である。 インターネットから利用できたが公開を停止している。 休眠中である。 データベースを公開予定である。 その他	コインターネットか	ロー服公開している	0. 7***					
<ul> <li>インターネットから利用できるが保健を限定している。</li> <li>インターネットから利用できるが保健である。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが保健を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが保健を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが保健を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムで非公開である。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> </ul>	インターネットが ストターネットか	ら利用でさるが利用 に利用できるが料料	田石で限正 ※を唱字!	している。 マンズ				
<ul> <li>インターネットがら分開している場合のURL</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。</li> <li>スタンドアローンのシステムで非公開である。</li> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> </ul>	コインターネットか		い眼である	CV100				
スタンドアローンのシステムとして利用できるが利用者を限定している。 スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムで非公開である。 インターネットから利用できたが公開を停止している。 休眠中である。 データベースを公開予定である。 その他 21. インターネットから公開している場合のURL		のシステムとして-	一路公開し	。 ている。				
スタンドアローンのシステムとして利用できるが機能を限定している。 スタンドアローンのシステムで非公開である。 インターネットから利用できたが公開を停止している。 休眠中である。 データベースを公開予定である。 その他 21. インターネットから公開している場合のURL		のシステムとして利	利用できる	こ、し、 が利用者を	を限定して	いる。		
スタンドアローンのシステムで非公開である。 インターネットから利用できたが公開を停止している。 休眠中である。 データベースを公開予定である。 その他 21. インターネットから公開している場合のURL	- スタンドアローン	のシステムとしてオ	利用できる	が機能を刚	民定してい	వ.		
<ul> <li>インターネットから利用できたが公開を停止している。</li> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> <li>21. インターネットから公開している場合のURL</li> </ul>		のミマニムマギム国	1875 Z					
<ul> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公開予定である。</li> <li>その他</li> <li>21. インターネットから公開している場合のURL</li> </ul>	スタンドアローン	のノヘノム し チム	用しのる。					
□ データベースを公開予定である。 □ その他 21. インターネットから公開している場合のURL	<ul> <li>スタンドアローン</li> <li>インターネットか</li> </ul>	ら利用できたが公開	剰でのる。 開を停止し	ている。				
○ その他 21. インターネットから公開している場合のURL	<ul> <li>スタンドアローン</li> <li>インターネットか</li> <li>休眠中である。</li> </ul>	ら利用できたが公開	<sub>用</sub> てのる。 開を停止し	ている。				
21. インターネットから公開している場合のURL	<ul> <li>スタンドアローン</li> <li>インターネットか</li> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公</li> </ul>	のシステムで非公開 ら利用できたが公開 開予定である。	前でのる。 開を停止し	ている。				
21. インダー不ットから公開している場合のURL	<ul> <li>スタンドアローン</li> <li>インターネットか</li> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公</li> <li>その他</li> </ul>	のシステムと非公開 ら利用できたが公開 開予定である。	前での <b>る。</b> 開を停止し	ている。				
	<ul> <li>スタンドアローン</li> <li>インターネットか</li> <li>イルターネットか</li> <li>休眠中である。</li> <li>データベースを公</li> <li>その他</li> </ul>	のノステム こそれが公開 ら利用できたが公開 開予定である。	用 てのる。 開を停止し	ている。				
	<ul> <li>スタンドアローン</li> <li>インターネットか</li> <li>休眠中である。</li> <li>データペースを公</li> <li>その他</li> <li>21. インターネットか</li> </ul>	のノステム こそれに ら利用できたが公開 開予定である。 ら公開している場合	<sup></sup> 剰 このる。 開を停止し 合のURL	ている。				
22. 年間アクセス数	スタンドアローン インターネットか 休眠中である。 データベースを公 その他 21. インターネットか	のフステムに守たが公開 開予定である。 ら公開している場合	<sub>前</sub> てのる。 開を停止し 合のURL	ている。				

23. 利用登録者数 登録制でない場合は「登録を要しない」と記入してください。

#### 24.利用規程の有無

データベースの利用に際し、規程が存在するかを選択し ます。

#### 25.構築のために助成を受けた補助金

データベース構築に当たって助成を受けた補助金の名称 を挙げてください。

#### 26. データベースの構築目的

データベースを構築するに至った理由を 400 字以内で記 入してください。

#### 27. データベースの検索・利用方法

データベースの検索・利用方法を 400 字以内で記入して ください。

#### 28. データベースを活用した研究成果

400字以内で記入してください。

#### 29. 今後の開発計画・課題

400字以内で記入してください。

#### 30.DB 構築に関する論文・著書(5 点以内)

当該データベースの構築に関する論文、著書等がある場 合、5点以内で列挙してください。

#### 31.DBの活用成果をまとめた論文・著書(5点以内)

当該データベースを活用した際の成果をまとめた論文、 著書等がある場合、5 点以内で列挙してください。

#### 32. DB の主題 NDC

日本の図書館で使われている図書の分類法です。100項 目中で該当するものにチェックを付けてください(複数 選択可)。登録可能な NDC 分類については「参考資料: NDC 分類一覧表」を参照してください。

#### 33.資源タイプ (NDL)

国立国会図書館の DNavi で使用されていたデータベース の分類です。14 項目中で該当するものにチェックを付 けてください (複数選択可)。各項目の詳細については「参 考資料:各 NDL 資源タイプの詳細」を参照してください。

24.	利用規程の有無

• ある () ない () 不明

25.構築のために助成を受けた補助金

26.データベースの構築目的

27.データベースの検索・利用方法

28. データベースを活用した研究成果

29. 今後の開発計画・課題

30. DB構築に関する論文・著書(5点以内)

31. DBの活用成果をまとめた論文・著書(5点以内)



### 公開用操作パネルの各部説明

#### ①「下書きとして保存」ボタン

記入した内容を一時保存する際にクリックします。

#### ②「プレビュー・変更をプレビュー」ボタン

編集中の内容がどのように反映されるか確認する際にク リックします。

#### ③ステータス

登録内容の状態がここに表示されます。

詳細は p4「ポータルサイト・DB への登録フロー」を参 照してください。

#### ④公開状態

登録内容がどのように公開されているかが表示されま す。原則「公開」の状態となります。その他、管理者権 限で下記の2種類の状態へ変更することが可能です。

- パスワード制限…ページの閲覧にパスワードの入力を 求める事ができます。
- •非公開…外部からの閲覧を制限します。ただし、当サ イトのアカウントを所持するユーザーは閲覧可能とな ります。

#### **⑤リビジョン**

更新履歴の一覧を確認する事ができます。また、過去に 編集した内容のバックアップも蓄積されていますので、 過去の状態へ巻き戻すことも可能です。

#### ⑥ゴミ箱へ移動

記事を削除したい場合はこのリンクをクリックします。 一度公開された記事は削除できなくなりますので、削除 したい場合は管理者へお問い合わせください。

#### ⑦「レビュー待ちとして送信」ボタン

ー通りの編集作業が完了し、管理者へ公開承認をとって もらう際にクリックします。一度押すとユーザー権限で は下書きの状態に戻せませんので、ステータス移行の際 は慎重に判断してください。

#### ⑧「ブランチを作成」

公開後の編集画面上に表示されるボタンです。登録内容 を修正する際にクリックします。詳細は p4「ポータル サイト・DB への登録フロー」の「ブランチ」の項目を 参照してください。





# 登録 DB 一覧の見方

「登録 DB 一覧」ではこれまでに登録したデータベースの一覧を確認する事ができます。

- 下書きと併記された項目は、現在当該項目が編集中であることを示します。
- ・レビュー待ちと併記された項目は、現在、管理者の内容チェックを待っている状態を指します。
- 何も記載されていない項目は、管理者の承認を経て、公開済みとなったものです。
- ・ブランチと併記された項目は、公開された当該項目からさらにブランチを切って修正している事を示します。

それぞれ、記事タイトルもしくは編集をクリックすると、編集画面に遷移します。

睂 (仮)人文系データベース協議会 ┿ 新規 ログアウト				
🚳 ダッシュボード	データベース 新規追加		表示オプション ▼	
🖈 データベース	所有   公開済み   下書き   保留中   ゴミ箱		データベース検索	
登録DB一覧	すべての日付 ▼ 絞り込み検索		4項目	
新規追加	タイトル	日時		
<b>9</b> 1 メディア	アンケートC - 下書き	2015年4月21日 最終編集日		
▲ プロフィール ④ メニューを閉じる	アンケートB - レビュー待ち	2015年4月18日 最終編集日		
	アンケートA	2015年4月18日 公開済み		
	<b>アンケートA -</b> 下書き, 67895のブランチ	2015年4月18日 最終編集日		
	タイトル 🔺	日時		

### 記事のソートと検索方法

下図の部分から編集したい項目を探す事ができます。 所有 | 公開済み | 下書き | 保留中 | ゴミ箱 投稿を検索 すべての日付 ▼ 絞り込み検索 30項目 《 《 1 /2 > » カイロル まず、以下の5つのテキスト部分をクリックすることで、それぞれ対応する項目を絞り込む事ができます。 保留中 所有 ユーザー自身が作成した項目のみを表示します。 管理者の公開承認待ち(レビュー待ち)となっている項 目のみを表示します。 公開済み 既に公開している項目のみを表示します。 ゴミ箱

#### 下書き

下書きの状態の項目のみを表示します。

削除した項目を表示します。

また、日付やキーワード指定による絞り込み検索を行うことも可能です。

「すべての日付」プルダウンメニューから検索したい年月を指定して、その横の「絞り込み検索」をクリックするか、 右側のフォームに任意のキーワードを記入して、その横の「データベースの検索」をクリックしてください。

# ダッシュボード

サイドメニューの「ダッシュボード」の項目をクリックすると、下図の画面に切り替わります。 これをダッシュボードと呼びます。

ダッシュボードではこれまで書かれた記事の数などの状況を確認できます。



# メニューの内容

①「データベース」データベースの新規追加・編集 左側メニューの上から2番目にデータベース用メニュー があります。登録したデータベースの一覧を確認する場 合は「データベース」内の「登録 DB 一覧」を、新規にデー タベースサイトを登録する場合は「新規追加」か、ヘッ ダーメニュー内の「+新規」をクリックします。

# ②「メディア」ファイルのアップロード

「メディア」ではファイルや画像のアップロードができ ます。

# ③「プロフィール」プロフィール欄の編集

「プロフィール」では登録したメールアドレス、パスワー ド等を変更する事ができます。



# 参考資料:NDC 分類一覧表(新訂第 10 版)

### 類目表(第1次区分表)

番号	分類名	番号	分類名
0	総記(情報学.図書館.図書.百科事典.一般論 文集.逐次刊行物.団体.ジャーナリズム.叢書)	5	技術(工学.工業.家政学)
1	哲学(哲学.心理学.倫理学.宗教)	6	産業(農林水産業.商業.運輸.通信)
2	歷史(歷史.伝記.地理)	7	芸術 (美術.音楽.演劇.スポーツ.諸芸.娯楽)
3	社会科学(政治.法律.経済.統計.社会.教育. 風俗習慣.国防)	8	言語
4	自然科学(数学.理学.医学)	9	文学

# 綱目表(第2次区分表)

番号	分類名	番号	分類名
0 0	総記	50	技術.工学
0 1	図書館.図書館情報学	51	建設工学.土木工学
02	図書.書誌学	52	建築学
03	百科事典.用語索引	53	機械工学.原子力工学
04	一般論文集.一般講演集. 雑著	54	電気工学
05	逐次刊行物.一般年鑑	55	海洋工学.船舶工学.兵器.軍事工学
06	团体.博物館	56	金属工学. 鉱山工学
07	ジャーナリズム . 新聞	57	化学工業
08	叢書.全集.選集	58	製造工業
09	貴重書.郷土資料.その他の特別コレクション	59	家政学.生活科学
番号	分類名	番号	分類名
<b>番号</b> 10	<b>分類名</b> 哲学	<b>番号</b> 6 0	<b>分類名</b> 産業
<b>番号</b> 10 11	分類名       哲学       哲学各論	<b>番号</b> 60 61	<b>分類名</b> 産業 農業
番号 10 11 12	分類名         哲学         哲学各論         東洋思想	番号 60 61 62	<ul> <li>分類名</li> <li>産業</li> <li>農業</li> <li>園芸.造園</li> </ul>
番号 10 11 12 13	分類名         哲学         哲学各論         東洋思想         西洋哲学	番号 60 61 62 63	分類名         産業         農業         園芸.造園         蚕糸業
番号 10 11 12 13 14	分類名         哲学         哲学各論         東洋思想         西洋哲学         心理学	番号 6 0 6 1 6 2 6 3 6 4	分類名         産業         農業         園芸.造園         蚕糸業         畜産業.獣医学
番号 10 11 12 13 14 15	分類名         哲学         哲学各論         東洋思想         西洋哲学         心理学         倫理学.道徳	番号 6 0 6 1 6 2 6 3 6 4 6 5	分類名         産業         農業         園芸.造園         蚕糸業         畜産業.獣医学         林業.狩猟
番号 10 11 12 13 14 15 16	分類名         哲学         哲学各論         東洋思想         西洋哲学         心理学         倫理学.道徳         宗教	番号 6 0 6 1 6 2 6 3 6 4 6 5 6 6	分類名         産業         農業         園芸.造園         蚕糸業         畜産業.獣医学         林業.狩猟         水産業
番号 10 11 12 13 14 15 16 17	分類名         哲学         哲学各論         東洋思想         西洋哲学         心理学         倫理学.道徳         宗教         神道	番号 6 0 6 1 6 2 6 3 6 4 6 5 6 6 6 7	分類名         産業         農業         園芸.造園         蚕糸業         畜産業.獣医学         林業.狩猟         水産業         商業
番号 10 11 12 13 14 15 16 17 18	分類名         哲学         哲学各論         東洋思想         西洋哲学         心理学         倫理学.道徳         宗教         神道         仏教	番号 6 0 6 1 6 2 6 3 6 4 6 5 6 6 6 7 6 8	分類名         産業         農業         園芸.造園         蚕糸業         畜産業.獣医学         林業.狩猟         水産業         商業         運輸.交通.観光事業

番号	分類名	番号	分類名
20	歷史.世界史.文化史	70	芸術.美術
21	日本史	71	彫刻.オブジェ
22	アジア史.東洋史	72	絵画.書.書道
23	ヨーロッパ史.西洋史	73	版画.印章.篆刻.印譜
24	アフリカ史	74	写真.印刷
2 5	北アメリカ史	75	工芸
26	南アメリカ史	76	音楽.舞踊.バレエ
27	オセアニア史.両極地方史	77	演劇.映画.大衆芸能
28	伝記	78	スポーツ.体育
29	地理.地誌.紀行	79	諸芸.娯楽
番号	分類名	番号	分類名
3 0	社会科学	8 0	言語
3 1	政治	81	日本語
32	法律	82	中国語.その他の東洋の諸言語
33	経済	83	英語
34	財政	84	ドイツ語.その他のゲルマン諸語
3 5	統計	85	フランス語.プロバンス語
36	社会	86	スペイン語 . ポルトガル語
37	教育	87	イタリア語.その他のロマンス諸語
38	風俗習慣.民俗学.民族学	88	ロシア語.その他のスラブ諸語
39	国防.軍事	89	その他の諸言語
番号	分類名	番号	分類名
4 0	自然科学	90	文学
4 1	数学	91	日本文学
42	物理学	92	中国文学.その他の東洋文学
43	化学	93	英米文学
4 4	天文学.宇宙科学	94	ドイツ文学.その他のゲルマン文学
4 5	地球科学.地学	95	フランス文学.プロバンス文学
4 6	生物科学.一般生物学	96	スペイン文学.ポルトガル文学
47	植物学	97	イタリア文学.その他のロマンス文学
4 8	動物学	98	ロシア・ソビエト文学.その他のスラブ文学
4 9	医学.莱学	99	その他の諸言語文学

もり・きよし原編、日本図書館協会分類委員会改訂『日本十進分類法 新訂 10 版』日本図書館協会、2014 年

# 参考資料:各 NDL 資源タイプの詳細

資源タイプ	説明
インターネット 情報源案内	サーチエンジン、リンク集(検索機能付き)等。 ウェブ上の情報資源に関する二次情報データベース。ただし、全文 検索等、データが項目によって組織化されていないサーチエンジン や、単なるリスト形式のリンク集を除く。
書誌	抄録、索引、ディレクトリー、目録等。ウェブ上にはない情報資源 に関する二次情報データベース。
館蔵品・所蔵品	絵巻物、古文書等。一次情報データベースのうち、図書館・博物館・ 美術館等の団体や個人の保有する史料や所蔵品等が電子化され公開 されているデータベース。
報告書・会議録	白書、年次報告書、業務報告、事業報告、統計調査報告、審議会・ 委員会等関係資料、計画書、調査研究報告書、広報資料、決算報告 等の一次情報データベース。
電子雑誌	ー次情報データベースのうち、同一のタイトルのもとに、終期を予 定せず、巻次・年月次等の表示を伴って、継続的に発行される電子 情報。
論文・記事	論文・新聞記事等の全文(フルテキスト)の一次情報データベース。
辞書・事典	人物・機関情報、用語集等の一次情報データベース。
文字・文献	ー次情報データベースのうち、「館蔵品・所蔵品」「報告書等」「電 子雑誌」「論文・記事」「辞書・事典」のいずれにも属さない文字情 報のデータベース。
数値・統計	統計データ等。一次情報データベースのうち、「館蔵品・所蔵品」 には属さない、数値・統計等のデータベース。
画像	写真、地図等。一次情報データベースのうち、「館蔵品・所蔵品」 には属さない、静止画のデータベース。
映像	映画、観察記録等。一次情報データベースのうち、「館蔵品・所蔵品」 には属さない、動画のデータベース。
音声	音楽、音声、機械音等。一次情報データベースのうち、「館蔵品・ 所蔵品」には属さない、音声のデータベース。
ソフトウェア	ー次情報データベースのうち、「館蔵品・所蔵品」には属さない、 アプリケーションソフトやゲーム等のデータベース。
マルチメディア	ー次情報データベースのうち、上記のすべてのタイプには属さず、 画像、映像、音声、ソフトウェア等を組み合わせて表示するコンテ ンツのデータベース。

国立国会図書館、"Dnavi ヘルプ"、データベース・ナビゲーション・サービス http://dnavi.ndl.go.jp/bnnv/servlet/bnnv\_user\_help.jsp(参照 2008-01-04)

# ビジュアルエディタの使用方法



本文の文章に改行を入れる場合は Shift キー+ Enter キーを入力します。

段落を入れる場合は Enter キーを入力します。

また、入力した文字をドラッグして反転表示させることで下記①~④の装飾を加えることができます。

### ①文章の様式

アイコンの左から「太文字」「斜体」「打ち消し」「下線」「箇条書き(丸)」「箇条書き(数字)」「インデント」「左寄せ」 「中央揃え」「右寄せ」となります。

### ②文字サイズと段落 / 見出し

「文字サイズ」で文字の大きさを調整できます。

「段落」をクリックすることで文章を段落とするのか、見出しとするのかを調整できます。

#### ③リンク

左側のアイコンをクリックすることでポップアップウインドウが表示され、リンクを挿入することができます。 右側のアイコンをクリックするとリンクが解除されます。

### ④表の挿入

プルダウンメニューが表示され、表を挿入することができます。

# メディアアップローダの使用方法

メディアアップロード機能は画像やファイル(PDF、Word、Excel など)のリンクをビジュアルエディタ内に追加す ることができます。

# アップロード手順

- **1.** エディタ左上の「Add Media」をクリックします。
- アップロード画面が開きます。画面上の指示に従いファイルをアップロードします。
   画像やファイルは作業しているパソコンのフォルダからドラッグアンドドロップで追加が可能です。
- アップロードが完了すると選択画面「Media Library」へ移行します。選択画面中のアイコンの内任意のものを選 択すると、画面右側に現れる入力フォームで各種情報を付与する事ができます(詳細は次項「『添付ファイルの詳 細』画面の各部説明」をご覧ください)。必要事項の記入が終わりましたら、項目を選択した状態で右下の「Insert into post」をクリックすることで画像、もしくはファイルのリンクが挿入されます。



# 「添付ファイルの詳細」画面の各部説明

#### Edit image

画像の一部切抜き、拡大縮小などを編集作業を行えます。

#### 完全に削除する

画像・ファイルを削除します。1 度削除しますと元に戻 せませんのでご注意ください。

#### タイトル

タイトルを記入します。ファイルの場合はここで記入し た内容がリンクのテキストに使われます。

#### キャプション

画像に関する説明文を記入します。このテキストは画像 とともに挿入されます。

#### 代替テキスト

画像を閲覧できない方向けのテキストを記入します。

#### 説明

画像に関する情報を記入します。この項目はエディタ上 に反映されません。

#### 配置

画像を左寄せ、中央寄せ、右寄せに調整できます。

#### リンク先

「メディアファイル」でそのファイル自身へリンク、「な し」でなにもリンクさせないことができます。

#### サイズ

画像のみのオプションで画像の大きさを調整できます。